

十島村教育委員会だより 令和4年6月号

# 変わやがトカラ情報

写真：鹿児島小・中学校 歯の健康指導

南北160km  
「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会  
〒892-0822  
鹿児島市泉町13番13号



## 「梅雨には最大限の注意を払って、怠りなく！」 十島村教育長 木戸 浩

梅雨明けはいつになるのでしょうか。大雨の影響で土砂災害や交通機関の乱れが続くなど、生活への影響が出ている地域もあるようです。十島村でも昨年、一昨年と被害がありました。これ以上被害が出ないこと、拡大しないこと、早期に復旧することを祈るばかりです。

さて先日、微笑ましい光景を目にしました。傘を差して親子一緒に登校する姿です。二人は、傘に長靴姿で学校まで歩いて登校。遠目から見ても、二人で何やら話をしながら歩いている様子が分かります。雨が、「親子一緒に歩ける時間」と「歩きながらの親子の会話」をプレゼントしてくれているのです。ふと、自分が小学生だった頃のことを思い出してしまいました。

私の小学生時代は、昭和42年度から昭和47年度までです。自家用車がある家庭なんて稀でした。当然のことながら我が家にもありません。家から学校までの2Kmを毎日徒歩で通学していました。雨が降ろうが、風が強ろうが、カンカン照りになろうが、歩くしか手段はなかったのです。

午後から雨が降り始めると、下校のことが心配になって仕方がなかったのが低学年の頃です。そんなとき、下の妹と母が2Kmの道のりを歩き、下校時間帯に合わせて傘を持って来てくれることがありました。毎回そうであったわけではありませんが、幼心にこれが嬉しくてたまりませんでした。母と妹と私とで、傘を差してテクテク歩く道すがら、母と話をするのが楽しかったのです。道ばたのカタツムリのこと、水溜まりのこと、学校でのこと、今夜の夕飯のことなど、兄妹2人が母を奪い合うかのように競って話しかけていたような気がします。ピチピチという雨音と母の声とチャップ

チャップという濡れた靴の音で、気持ちはランランの上機嫌だったのを昨日のことのように思い出しました。もうしばらく梅雨の雨と付き合い合えなければならぬと思

いますが、災害に対しては十分に気を付けてほしいと願っています。



## 【中学校の先生が不足しています。】

4月当初より、本来赴任していただくはずであった先生方が、教員不足のために6人未配置の状況が続いています。県内で今年度は54人の未配置が発生しております。このような状況の中、県教育委員会や鹿児島教育事務所にも何度もお願いし、早期の配置を切望しているところです。村のホームページや各学校のホームページ等にも募集のチラシを掲載しているところです。村の教育委員会としても、教育学部のある鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島女子短期大学等へ直接出向いたり、連絡を取り合ったりしながら教員希望者の発掘を行っているところです。早期に赴任していただける先生が見つかるように全力で取り組んでいるところです。

## 【山海留学生と山海留学生寮の寮監さんを募集していきます。】

令和4年度末までに、口之島と小宝島に山海留学生寮が出来上がる予定です。定員は他の島と同様で6人から8人の寮になります。今までは年間を通して随時募集にしていますが、今年度から12月末を第一回の締め切りに行きたいと思っています。その理由は、児童・生徒数が決定しないと、学級数の増減に関わってきて、教職員の数にも影響してきます。2月、3月に山海留学生が増えてくると、教職員の配置が今年のように間に合わなくなってしまうこともあり得ます。もちろん、様々な理由でぎりぎりにならないと決まらない子どもさんもおられると思います。そこは受け入れる施設に余裕があればこれまでどおり受け入れていきたいと思っています。

また、寮監さんも募集しますので、基本的に島外から来てくださる御夫婦で、できれば小中学生の子どもがいらっしゃればありがたいです。どなたか知り合いの方で、十島村で働きたいという希望をもたれている方(IターンやUターンの方)を御紹介していただければ幸いです。(その時は教育委員会へ御連絡ください。)

## 「いじめ問題を考える週間」を終えて

十島村教育委員会では、いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)をふまえ、いじめ防止等の取組を再構築し、いじめ防止等に向けた対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針として、十島村いじめ防止基本方針を定めています。各学校のホームページの巻頭ページに各学校の取組「いじめ防止基本方針」を掲載しています。いじめは、子どもの健全な成長の妨げだけでなく、将来に向けた希望を失わせるなど、深刻な影響を与えるものなのです。これからは、学校と家庭そして地域が協力し合って、子どもたちが安心して生活できる環境作りに御協力ください。

## 【新聞掲載作品】

空とは  
青い空を見ていると  
気持ち落ち着く  
青い空を見ていると  
気分が良くなる  
雲がかかると  
不安な気持ちになる  
雨が降り出すと  
不安な気持ちが増えてくる  
空というのは  
何だろう  
(宝島小六年 松元大樹)

子供のうた  
五月二十五日 南日本新聞掲載

## 十島村で学ぶ

### 口之島中学校 3年 肥後 優衣花

私は、4年生の2学期に父の故郷である口之島に転校してきて5年目となりました。そしてとうとう受験・島立ちの年になりました。

島の美しい自然と温かい島民の皆さんに囲まれて歩く登下校の道、大変な中にもやり甲斐がある生徒会活動、たくさんの方の行事、すべてが口之島の素晴らしさだと思います。そんな中でも、特に私が誇れる口之島の素晴らしさは「あきらめない心」だと思います。昨年の運動会では、一輪車の演技に挑戦しました。4月には児童生徒の半数以上が一輪車にも触れたことがなかったので、本番に間に合うのが不安でした。しかし、全員が昼休みや休みの日に一生懸命に練習したことで、本番では、ノーミスの完璧な演技をすることができました。ここまでの道のりは大変でしたが、全員の「あきらめない心」のおかげで、楽しく演技をすることができました。また、「鹿児島県のチャンピオンになろう！」という目標を立てて挑んだ「チャレンジかごしま」。みんなで励まし合いながらきつい練習を乗り越えて、たくさんの方の賞を取ることができました。これも口之島小中学校全員の「あきらめない心」の賜物です。



中学3年生になった今、まずは受験に勝つ、そして将来の夢に向かって突き進む、どれも「あきらめない心」が大切になってきます。口之島で培ったこの「あきらめない心」を胸に刻んでこれからもがんばっていきます。

“Our efforts will make the future!”  
(私たちの努力が、未来をつくります。)

## 【宝島小・中学校からのメッセージ】 教諭 川崎 真耶

宝島小・中学校に赴任して2年目になりました。昨年の1年間は、様々な活動とおして、宝島での生活に少しずつ慣れていく年だったように感じます。

中学校教員ではありますが、ここ十島村では、校種関係なく小学生とも一緒に学び、小学校の先生方とも活動をしていきます。これは、他の地ではなかなか体験することができないものだと思います。これまで気づけなかったことに気づき、日々、新鮮な気持ちで仕事をしてまいりました。それだけに宝島では自分自身の教師としての未経験の部分強く感じるとともに、ここで経験を積んでいきたいという思いが強くなりました。



また、宝島に来て、人の温かさと優しさをを感じる事が多くなりました。学校行事や活動は、島民の皆様のおかげで成り立っているものが多くあります。お願いをしたときに快く引き受けてくださったり、助言をくださったりします。それだけではなく、普段の生活の中でも島民の皆さんからの何気ない言葉かけ、行動に助けていただくことが多くあります。それを感じるたびに、宝島に来ることができて良かったと心から思います。そして、少しでも恩返しができるように、今の自分にできることを精一杯取り組み、積極的に動いていけるように、これから更に励んでいきます。

## 『教職員仲間であるあなた』への 私からのメッセージ

直接お会いすることは難しいですが、TV会議システムなどを通して、先生方と様々な交流ができればと思っています。これからもよろしくお祈りします。

## 令和4年4月21日 南日本新聞「若い目」掲載

「英語を学びたい」  
小宝島中一年 松本 尊  
僕はこの四月、神奈川県鎌倉市から小宝島にやってきました。中学生では英語ができるようになりたいと思っていました。インターネットで調べると小宝島には外国人の先生がいるとわかり、通いたくなりました。小宝島中は小学校と一緒の学校で、カナダ出身のジェイク・ブラックバートン先生がいました。先生はとてもやさしくて、英語はもちろん、日本語もとても上手です。僕も同じように二カ国語を自由に話したいと思いました。小宝島では小学校の五人と中学校三人の全員で一輪車にもチャレンジしています。僕はまだ全く乗れませんが、島を一周できるようになりたいです。昨日は春の一日遠足がありました。みんなで行って魚釣りをしました。一匹ですが、みんな釣れました。早速楽しい経験ができました。これから中学校の学習が本格的に始まります。丁寧の一つずつ頑張っていきたいです。



子供のうた  
五月二十一日 南日本新聞掲載  
よるのおつきさま  
よるのおつきさま  
よるのおつきさま  
おおいね  
おそらで  
ちいさくなっていくよ  
よるのおつきさま  
ほそくて きいろいかお  
うちゅうのおうちに  
ただいまっていうよ  
(平島小一年 にしやま せいすけ)

